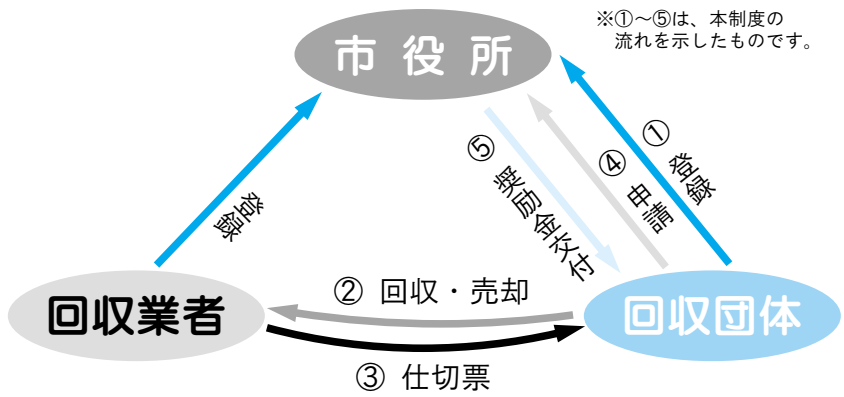
新シリーズ
わたしたち リサイクル党

= ⑪ =

ご存じですか？集団資源回収

集めた資源物で奨励金交付
雑誌➡菓子箱・絵本などに変身

奨励金制度の流れ



市では、ごみの減量化・資源化を推進するために、集団資源回収事業を支援するとともに、市に登録した団体へ奨励金を交付しています。

去年12月末日現在で51の団体が登録し、約487㌧（びん類4・6㌧、アルミ缶9・9㌧、スチール缶3・4㌧、新聞317・8㌧、雑誌55・7㌧、段ボール71・5㌧、牛乳パック3・6㌧、布20・8㌧）の資源を回収しました。

市へ登録できるのは、市内自治会・子ども会・PTAなど、定期的、継続的に資源回収を実施している、または、実施しようとしている団体です。登録申請は、随時資源対策課で受け付けています。

奨励金は、登録団体が回収した資源物（びん類・缶類・紙類・布）を、市に登録している資源回収業者に売却すると交付されます。

金額は、回収した資源物の総重量に5・3円を乗じた額となります。

●生まれ変わる資源物

回収された資源は、次のようなものに生まれ変わっています。

○びん類→飲料や調味料用びん・ガラス製品・タイルなど
○アルミ→アルミ缶など
○スチール→単管パイプなど
○新聞→新聞紙・週刊誌など
○雑誌→菓子箱・絵本など
○段ボール→段ボール・封筒など
○牛乳パック→トイレットペーパー・ティッシュペーパーなど
○ミックスペーパー→ティッシュペーパー・ボール紙など
○布→古着（海外輸出中心）・ウエス（裁断布）・RDF（Refuse・Derived・Fuel＝固形燃料）など。

●登録・年度ごとに必要

なお、平成14年度に登録している団体へは、3月中に15年度の登録申請書を送付します（登録申請は年度ごとに必要です）。必要事項を記入して、郵送または直接、資源対策課へ提出してください。

問　同課（内548）。

昨年末までの「登録51」
申請は随時受付

集団資源回収事業

年度	登録団体数	回収量（㌧）	奨励金交付額（円）	1団体あたり平均交付金（円）
平成11年度	62	667	3,506,500	56,556
平成12年度	59	616	3,193,000	54,119
平成13年度	56	559	2,985,500	53,313

消す心 置いてください 火のそばに

統一標語

3月1日㊏～7日㊎まで
春の全国火災予防運動実施

3月1日（土）から7日（金）まで、「消す心　置いてください　火のそばに」を統一標語に、春の火災予防運動が実施されます。

期間中、消防本部消防署や消防団では、市内の大型店舗などの査察や、消防車両による巡回広報を実施します。

家庭用の機器は暮らしに溶け込んで、快適さ、便利さを与えています。しかし、身近で手軽なせいか、ちょっとした不注意から火災発生の原因にもなっています。特に、暖房機器などの取り扱いには、十分注意してください。

ご注意！寝たばこ・暖房機器…

住宅防火　いのちを守る7つのポイント

●3つの習慣

○寝たばこは、絶対にやめましょう。
○ストーブは、燃えやすいものから離して使いましょう。
○ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。

●4つの対策

○逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう。
○寝具や衣類からの火災を防ぐために、防炎製品を使いましょう。
○火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置しましょう。
○高齢者や身体の不自由な方を守るために、隣近所の協力体制を作りましょう。

問　予防課（☎231・0968＝直通）。

●海老名市総合計画審議会
市民委員2人を募集

市では、海老名市総合計画の審議会委員2人を公募します。

この審議会は、学識経験者など14人で構成され、総合計画に関する意見などを市に具申しています。任期は今年4月から2年間で、年3～5回の審議会を予定しています。応募資格は、市内在住の20歳以上の方です。詳細は、企画政策課またはホームページ上にある募集要領を参照してください。応募の締め切りは、3月7日（金）です。

問　同課（内282）。

●介護保険運営協議会の委員募集

海老名市介護保険運営協議会は、市民・介護保険被保険者の方の意見を広く取り上げることを目的に、一部委員を公募により選任しています。このため、今年4月から平成18年3月31日までを任期とする、同協議会の委員を募集します。

▽応募資格　市内在住の40歳以上で、介護保険、高齢者福祉に関心のある方（公務員など公職にある方を除く）　▽募集人数　4人以内　▽応募方法　応募用紙（高齢福祉課にあります）と、介護保険または高齢者福祉を題材とした800字以内のレポートを、高齢福祉課に提出してください　▽締め切り　3月14日（金）必着　▽選考方法　選考委員会委員がレポートの内容などを審査し、3月31日（月）までに決定。選考結果は応募者全員に通知します。

※協議会は年6回程度、原則として平日に開催します。出席した場合は報酬が支払われます。

問　同課（内470）。

●国分寺台自主講座

国分寺台講座運営委員会・市教育委員会の主催で、国分寺台文化センターを会場に2講座を開催します。参加費は無料です。

希望者は、住所・氏名・電話番号を、講座ごとの申し込み期限までに、生涯学習課へ電話または電子メールでご連絡を。

▼似顔絵を描くーいとおしい自分発見　▽日時　3月2日(日)午前10時～11時30分　▽内容　参加者が2人1組でお互いにモデルになって、色紙に筆ペンを使って似顔絵を描きます。筆ペンを持参してください（色紙は用意します）。講師は、海老名市趣味講座講師・城島静也氏　▽定員　30人　▽申し込み期限　2月26日（水）まで

▼相模国分寺とこの丘陵の歴史　▽日時　3月16日（日）午前10時～11時30分　▽内容　国分寺研究家・玉手英四郎氏による講義　▽定員　60人　▽申し込み期限　3月10日（月）まで

申問　生涯学習課（☎232・3231、eメール＝shogaku@city.ebina.kanagawa.jp）。

●消費生活専門講座
～医師と患者の信頼～　分かりやすく講演

私たちの日常生活にかかわりの深い問題をテーマに取り上げ、楽しく分かりやすく情報提供するため、消費生活専門講座を開催します。

▽日時　3月13日（木）午後2時～4時　▽会場　市役所703会議室　▽内容　講演「インフォームド・コンセントとセカンド・オピニオン～医師と患者の信頼～」（講師＝昭和大学教養学部助教授・田村京子氏）　▽定員　70人　▽参加方法　2月17日（月）から電話または直接商工課へ。託児を希望する方は、申し込み時にお申し出を（2歳以上・定員10人）。申込多数の場合は抽選。

問　同課（内511）。